

社会資本総合整備計画

最終提出日：平成25年5月17日

計画の名称			
広島都市圏の中核拠点機能向上と周辺地域の魅力ある地域づくりの支援			
計画の期間			
平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）			
交付対象			
広島県、府中町、海田町、熊野町、坂町、江田島市、安芸高田市、呉市、大竹市、廿日市市、安芸太田町、北広島町、東広島市、竹原市、大崎上島町			
計画の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島都市圏の都市機能の集積・強化を図るとともに、周辺地域からのアクセス性の強化、交通結節点の改善及び交通の円滑化により、中核拠点機能の向上を図る。 ○ 高規格幹線道路の東広島・呉自動車道と一体となった交通網の形成、交通結節点の機能充実・強化により広域的な交流・連携を強化し、沿線地域における産業活動などの活性化を促進する。 ○ 中山間地域におけるライフラインの強化などの生活環境整備を行い、「安全」「安心」な地域づくりを支援する。 ○ 島嶼部を含む瀬戸内海沿岸地域における豊かな観光資源を活かした地域振興を促進する。 			
計画の成果目標(定量的指標)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島都市圏中心部へのアクセスについて、平成20年度末に比べ65億円／年(H25)の走行時間短縮効果を発現させる。 ○ 東広島・呉自動車道の各ICから30分以内の圏域人口を平成20年度末に比べ19,000人(H25)増加させる。 ○ 各市町の中心医療施設への30分以内到達人口を平成20年度末に比べ14,000人(H25)増加させる。 ○ 瀬戸内海中部エリア(呉市・東広島市・江田島市・竹原市・大崎上島町)の総観光客数をH20に比べ20%(H25)増加させる。 			
定量的指標の定義及び算定式			アウトカム指標の現況値及び目標値
			当初現況値
			中間目標値
			最終目標値
			(H20末)
			(H23末)
			(H25末)
各要素事業の整備による短縮時間を算出し、区間交通量及び時間価値原単位を乗じることにより走行時間短縮便益を算出する。 (走行時間短縮便益) = \sum ((評価時点の各要素事業の短縮時間) × (区間の交通量) × (時間価値原単位45.78円/分・台)) × 365			-
			35億円
			65億円
東広島・呉自動車道の各ICから30分以内の圏域人口の増加人口を算出する。 (圏域人口の増加) = \sum ((評価時点の各IC毎の30分以内圏域人口) - (H20年度末の各IC毎の30分以内圏域人口))			-
			9,000人
			19,000人
各市町毎に中心医療施設への30分以内到達人口の増加人口を算出する。 (30分以内の到達人口の増加) = \sum ((評価時点の各市町の30分以内の到達人口) - (H20年度末の各市町の30分以内の到達人口))			-
			6,000人
			14,000人
呉市・東広島市・竹原市・江田島市・大崎上島町の総観光客数を調査する。 (総観光客数の増加率) = \sum (評価時の各市町の総観光客数 - H20の各市町の総観光客数) / \sum (H20の各市町の総観光客数) × 100			-
			12%
			20%